

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。

2 競技者の招集について

(1) **トラック競技の招集場所は、競技場第1ゲート100mスタート地点後方とする。フィールド競技の招集場所は、当該競技のピットとする。**

(2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとするが、出場人数によって変更もあるので、タイムテーブルを確認すること。競技者係の指示で整列し、チェックを受ける。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	30分前	15分前
フィールド競技	45分前	30分前
走幅跳、三段跳決勝	30分前	20分前

(3) 招集方法

ア 競技者は、出場種目の招集開始時刻にアスリートビブス（ナンバーカード）を競技者係に示し、種目名・組・レーンのチェックを受ける。予選を通過し、決勝に進出した場合は、事前に組・レーンなどを確認しておくこと。（記録速報掲示板の番組編成に掲示してある）

イ 男女カテゴリーの100m、150m、200m、男子110mH、女子100mH、1年男子100mHに出場する選手は、風の向きによってスタート位置が変わる可能性があるため、放送をよく聞くこと。

ウ 個人種目とリレー競技の招集時間が重なった競技者については、招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、事前にその旨を競技者係及びフィールド審判員に申し出て、競技に参加すること。

エ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

オ リレー競技についても、同様とする。

3 トラック競技について

(1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。

(2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける。（逆走の場合は、左右両方につけるので注意）但し、中長距離種目の10レーン以降の腰ナンバー標識は、競技者係より受け取ることができる。

(3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。

(4) リレーのオーダーは、**1組目招集完了時刻の60分前までに**競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。

リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。

(5) トラック競技の決勝の走路順は本部抽選とし、記録速報掲示板の番組編成に掲示する。結果については、速報掲示板に掲示する。

(6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。ただし、レーンに余裕がある場合は、同記録者の着差判定は行わず、次のラウンドに進めるようにする。

(7) A B決勝のある種目は、予選のタイム上位8名がA決勝、9～16位がB決勝となり、表彰者はA決勝が対象となる。

4 フィールド競技について

(1) **B男子走幅跳については、予選を行う。予選通過標準記録は、5m20とする。**

(2) 走幅跳および走高跳は各1・2ピットを使用する。また、走幅跳においては、出場者数により2組の時間差スタートにすることもあり得る。

(3) **B男子走幅跳は、予選の試技を2回（決勝は3回）とする。それ以外の種目は、トップ8の試技は行わず、1人3本の試技の結果で順位を出す**こととする。

(4) 走高跳のバーの上げ方は、以下の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子A 走高跳 （練習1m45）1m50（以後5cm上げ）1m75以後3cm上げとする

男子B 走高跳 （練習1m25）1m30（以後5cm上げ）1m50以後3cm上げとする

女子A 走高跳 （練習1m25）1m30（以後5cm上げ）1m50以後3cm上げとする

女子B 走高跳 （練習1m05）1m10（以後5cm上げ）1m30以後3cm上げとする

(5) 棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子 1m50開始（以後20cm上げ）2m50以後10cm上げとする

女子 1m50開始（以後20cm上げ）2m10以後10cm上げとする

(6) **B男女走幅跳、B男女砲丸投、共通男女円盤投、共通男女ジャベリックスローにおける計測ライン**は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子 走幅跳 4m50 砲丸投 6m00 円盤投 12m00 ジャベリックスロー 20m00

女子 走幅跳 3m75 砲丸投 7m50 円盤投 12m00 ジャベリックスロー 18m00

5 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 競技に使用できる競技用靴の靴底の厚さは、トラック種目・フィールド種目ともに20mm以内とする。規格に合うもので競技を行うこと。ただし、砲丸投、円盤投、ジャベリックスローなど、投てきのシューズにおいては、一切規制しないものとする。
(審判長が疑義を抱いた時には、確認を行う可能性がある。)

6 公開練習・補助競技場について

- (1) 競技場は2日とも7:00～8:30まで開放する。8:30～9:00は機材準備のために閉鎖する。
※共通男子ジャベリックスローに出場する選手は、1日(土)8:30～9:00、共通女子ジャベリックスローに出場する選手は、1日(土)10:30～11:00の間、芝生部分を開放する。
※共通女子三段跳に出場する選手は、31日(金)13:00～13:30頃、共通男子三段跳に出場する選手は、1日(土)11:30～12:00頃、三段跳ピット【ホームストレート側】を開放する。
- (2) **補助競技所の開放は、7:00～最終競技の招集開始までとする。**開放中は事故のなように各自、各チームで注意すること。
- (3) 2日とも、8:30以降のウォーミングアップは、補助競技場で行い、安全に留意すること。
- (4) 補助競技場は、安全確保のため、走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、ジャベリックスローのピットは開放しない。スターティングブロック等の道具の貸出も行わない。
- (5) 主競技場の1、2レーンは周回レーンとし、ホームストレートの3～6レーンはスタートダッシュレーン、7、8レーンは100mH、110mHレーンとする。バックストレートは3～7レーンをリレー練習レーン、8～9レーンを流し、短距離レーンとする。
※補助競技場も概ね同様とする。
- (6) 外周のフェンスに寄り掛かったり、乗り越えたりする行為は禁止とする。補助競技場にテントなどを設営する場合は、フェンス外側の芝生部分(傾斜)の定められた場所のみとする。
- (7) 補助競技場の芝生部分は、体操やJOG、ドリル、流しなどの練習は可とするが、スパイクでの練習や用具を使った練習は禁止する。
- (8) 補助競技場の出入り口は100mのスタート後方のゲート1カ所のみからとする。
- (9) リレーの練習で使用したマークは、各団体が責任をもって処分する。自分のゴミは持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (10) 主競技場、補助競技場ともに練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳のポール、リレーのバトンを除く)また、主催者が予め準備する用具以外の使用を禁止する。
- (11) 補助競技場には、放送が入らないので、十分注意すること。

7 その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与する。**優勝者には「チャンピオンTシャツ」を授与する。(大会当日にサイズを記入し、新人戦大会で配付予定)**
今大会で最も活躍した選手を大会総務で審議の上、決定する。大会最優秀選手には、育成賞金にあたる「スポーツ商品券」を贈呈する。
- (2) 表彰は実施せず、大会本部にてチームの引率者が代わりに賞状を受け取る。
- (3) 競技者以外の者は、絶対に競技場内に立ち入らないこと。(特に、本部前、フィニッシュ付近は通行禁止とする。)
- (4) **競技終了後(ゴール後)は、直ちに競技の妨げにならない場所へ移動すること。その際、忘れ物や荷物の取り違いに注意すること。**
- (5) リレーの練習で使用したマークは、各団体が責任をもって処分する。自分のゴミは、持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (6) スタート・フィニッシュ付近では、静かにする。
- (7) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意すること。
- (8) 主競技場のメインスタンド、メインスタンド横のテントの設置は禁止とする。テント等を設置する場合は、サイドまたはバックスタンドの各チームの割り当てられた場所のみ可能とするが、風で飛ばされたりしないよう十分注意すること。(雨天などで対応が必要な場合は、当日指示する。)
- (9) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (10) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。
- (11) 盗撮行為防止のため、競技者に迷惑がかかる恐れのあるすべての方向からの撮影、行動を禁止する。
- (12) 雷雨や競技続行不可能な際の緊急避難に関する場合は、アナウンスで連絡するので指示に従うこと。
- (13) **生徒保護の観点から試合内容を、YouTubeを含むSNSへの掲載を禁止する。**

8 観客(保護者)の来場について

- (1) **観戦者(保護者)の入場は8:00以降とする。**
- (2) 来場する場合は、できる限り公共交通機関を利用すること。第1駐車場、第2駐車場を開放するが、駐車できる台数には限りがある。**競技場周辺での路上駐車、無断駐車は絶対にしないこと。**
- (3) 大会本部および厚別公園競技場は、いかなる事故、トラブルにも責任を負わない。
- (4) 観戦できる場所は「メインスタンド」の前列(オレンジ色の座席)のみとする。
- (5) サイドスタンド、バックスタンド、サブトラック、招集所、大会本部など、選手及び競技役員が使用する場所への立ち入りを禁止する。
- (6) 出入り口は、第1ゲートのみとする。保護者が利用できるトイレは、サブトラック側トイレのみとする。
- (7) 競技場内においては競技役員および大会本部の指示、場内表示に従うこと。

- (8) 肖像権保護のため、競技者の保護者および本人の同意のない撮影を禁止する。撮影できる場所は、8-(4)に示す観戦エリア内のみとする。
- (9) 迷惑撮影防止のため、撮影はスマホ・タブレットのみ可能とする。一眼レフ・ビデオカメラ等での撮影は一切禁止する。また、スマホ・タブレットへの望遠レンズ等の着用を禁止する。
- (10) トラック種目のスタート時および準備動作中に撮影することはできない。
- (11) 撮影した画像、動画の販売および営利目的の利用を禁止する。
- (12) 撮影した画像、動画をWeb上にアップロードすることを禁止する